



しまもと あきら
嶋本 晃さん

昭和44(1969)年 西宮市生まれ
父親は、アーティスト故・嶋本昭三氏
苦楽園小学校(1期生)、苦楽園中学校、県立
西宮甲山高等学校、大阪音楽大学声楽学科
声楽専攻卒業、同専攻科終了、同大学院歌劇
研究室終了。神戸市混声合唱団団員、園田学
園女子大学生涯学習講師、神戸女学院大学
演奏員、阪急学園音楽講師 他、声楽・コーラ
スの演奏、及び指導、上方オペラ工房副主宰



ま
ち
の
宝
人
—— 嶋本 晃さん

私には、笑いも 音符のひとつです。

「楽しい音楽のひとつを
お客さまと共有したい」その
思いで13年前から始まった、
その名もずばり「たのしいリ
サイタルシリーズ」。この公
演を企画から台本、衣装や小
道具の制作、そして演出、出
演まで、すべて自身で手がけ
ている声楽家・嶋本晃さんを
インタビューしました。

—— 生粋の苦楽園っ子ですよ
ね。両親ともに芸術家で幼少
の頃から音楽を？

某音楽教室に入会しました
が教材の音符磁石の磁石部分

に心を奪われすぎて、母親に
3回で退会させられました
(笑)。音楽よりも工作の好き
な子どもで、中・高校では理
科部で部長も務めるほどでし
た。将来は技術者になりたい
と、大学は宇宙工学科を一時
目指していましたが、ひょん
なことから音楽大学に入学す
ることになりました。

—— 「ひよんなこと」とは？

甲山高校2年生の時の合唱
コンクールでパートリーダー
になり、家で練習していたと
きです。声楽家の母親が「大
学は工学部と音大も(?!)目
指したら」と言ったのがきっ
かけです。音楽は家の中では
ごく日常でした。まして歌う
ことは当たり前のことで、い
つも歌っていました。アニメ
ソングでしたが(笑)。中・
高校でもそれは変わらず、普
通に声を響かせて歌っていま
した。そして、結局合格した

のが音大だったわけです。
—— 音楽活劇『西遊記』シリ
ーズが好評ですね。
オペラでも喜劇が好きです。
楽しんでもらうにはまず自分
自身が楽しいと思わなければ
いけない。それに、気遣いで
笑う人はいない。そう思って
台本を書いています。反応が
直接伝わるし、素直に喜んで
くださるお客さまの姿を見
ると、次への活力にもなり
ます。コロナ禍に動画配信し
たりモット『西遊記』は、西
宮市文化振興財団の「FIGHT
TOGETHER PROJECT」
にも選ばれました。子どもの
ころからの工作好きも舞台作
りに役立っています。
—— 合唱指導もされています
よね。
音楽、特に合唱は人と人を



客席から思わず笑い声を誘う楽しい演出

つなぐ文化だと思っています。
この仕事は生命を救うとか、
生活に不可欠までとはいかな
いけれど、人生をほんの少し
明るくすることはできるかな
と思っています。だから僕の
指導は厳しいものではなく、
「楽しんで」をモットーにし
ています。そして、発表会を
設けるようにしています。エ
ンターテイナーとなってステ
ージに立つことは、良い学び
になります。

インタビュー中も笑いが絶
えません。クラシックはちょ
っと難しそうと思っている人
も、嶋本さんの公演では、2
時間の幸せをきくと演奏でき
るでしょう。



アンサンブルの素晴らしい響きで客席を魅了

高校生が先生——
西宮北高校出前授業

県立西宮北高校2年生による苦楽園小学校への出前授業が、昨年の12月13日に開催されました。

「将来、子どもに関わる仕事をしたい」と考えている高校生たちが、授業内容を考えに行きました。授業は、クイズなどを取り入れた個性的な内容で、みんな楽しんで取り組んでいました。

都道府県をみんなで完成させる授業では、都道府県を動物や人などに見立て「これは何に見えるだろう？」と児童たちは想像力を膨らませて考え、最後には、とてもすてきな都道府県が完成しました。

高校生たちが学んだことや持っている知識をどのように表現すれば相手に理解してもらえるかを工夫した素晴らしい授業でした。



楽しい授業風景

きらきら
スノードーム作り

苦楽園青愛協

苦楽園地区青少年愛護協会は2月8日、苦楽園小学校の教室を借りて工作イベントを開催しました。今回は、冬らしさ満点の「スノードーム作り」です。約60人が参加しました。

水や細かいラメを扱うため、指先を使った作業にみんな真剣な表情を浮かべて集中しますが、ボトルに水を入れる時にあふれてしまったり、ラメを盛大にまき散らかしたり…。アクシデントもありつつ、同じテーブルの友達と協力しながら作ることができました。最後に、それぞれ自分が使ったテーブルの上をきれいに片づけて解散しました。



オリジナリティーあふれる作品に!

スケート教室

苦楽園こども会

冬の寒い中、2月24日にひようご西宮アイスアリーナで恒例のスケート教室を行いました。約80人が参加してにぎやかに楽しみました。

友達と手をつないで滑る子、ソリに乗って楽しむ子、お父さんやお母さんに引っぱってもらいながら滑る子など、みんな鼻を赤くしながら思い思いに過ごしていました。

日常では体験できない氷の上を、子どもたちは上手に滑っていました。

帰りには、バームクーヘンのお土産をもらい、全員で記念撮影をしました。



全員集合!!



楽しく滑ってるよ

楽しいひな祭り会

夙川宝プリスクール

夙川宝プリスクールで、3月3日にひな祭り会が行われました。ひな祭りの由来の話やクイズで盛り上がり、歌を歌った後は、0〜5歳児まで、組ごとに手作りしたおひな様の作品を紹介。世界に一つしかない個性的なおひな様が大集合しました。



かわいなおひな様が大集合〜♪

続いて、恒例の鉄棒の練習成果を披露。ぶら下がり、前回り、逆上がり、足抜き回りの大技まで！子どもたちの健やかな成長を7段飾りのおひな様が、優しく見守っているようでした。



鉄棒もカッコよくできました♪

B.P祭で鍋1グランプリ
ポークスカウト西宮13回

2月16日にポークスカウト、カブスカウトでは、B・P祭が行われました。「B・P」とは、ポークスカウトの創始者ベーデン・パウエル卿の略称であり、誕生日である毎年2月22日を「世界友情の日」と定め、ポークスカウトでは毎年2月にB・P祭を行います。

この日、第3・13団カブの6組と保護者2組の8チームが、オリジナルレシピで鍋を作る「鍋1グランプリ」を開催しました。調理や火付けは、カブとポークで協力して取り組みました。みんなで鍋を楽しんだ後は、各隊でけん玉やこまなどの昔遊びを楽しみながら交流を深め、B・P祭を祝いました。



オリジナルレシピの鍋を!

学校には、伝え続けていきたい意思がある

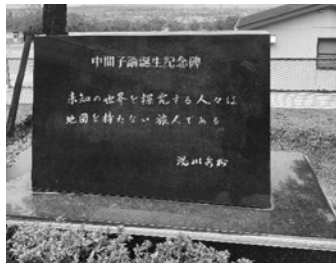
苦楽園小学校

湯川秀樹博士が、日本人として初めてノーベル賞を受け、受賞の対象となった「中間子論」を提唱したのは、苦楽園に住んでいる時でした。

散歩道の途中にある苦楽園小学校からの景色がきれいで気に入っていたようです。

博士の「中間子論」の提唱から50年経た昭和60（1985）年11月2日に、博士ゆかりの研究者が中心となって、「中間子論誕生記念碑」を苦楽園小学校校門横に建立しました。

その碑文には、博士の著書『旅人』にある「未知の世界を研究する人々は、地図を持たない旅人である」という言葉が刻まれています。



中間子論誕生記念碑

苦楽園中学校

昭和51年2月12日、校是「克己」の碑が校門前に建立されました。碑の題字を書いたのは、当時の同校教諭・佐藤尹亮（翠龍）先生です。この校是「克己」について、開校当時の昭和49年の始業式での講話で、初代校長の水谷忠夫氏は以下のように述べています。「苦しさに打ち克たなければ、本当の喜びはありません。自分で力いっぱい努力をし、それをやり遂げたときの『湧き上がる喜び』これを体で感じてほしい」

自分の弱さに打ち克つ強い意志で、「遊びたい、楽をしたい」という人間の持つ本能的な弱さを自分で克服できる強い人になってほしいという願いが込められています。



校是「克己」の碑

西宮北高等学校

（石碑の由来）
西門を入ってすぐ左にある石碑には、「生活は質実素朴に 心は高く豊かに」と校是が刻まれています。

初代校長の藤井寅次氏が、イギリスの詩人であるワーズワースの詩「国家の独立と自由に献げるソネット」の中の一節を引用。

「Plain Living And High Thinking」
「暮らしは低く 思いは高く」（別訳「暮らしは質素に 思索は高く」）。

「厳しいが、心のこもった教育を目標に」との熱い思いが込められています。



校是の碑（ワーズワースの詩を引用）

西宮甲山高等学校

（碑への思い）
創立10周年記念誌に、校訓制定に関わった経緯、碑の建立、揮毫者の思いが紹介されています。第2代校長である磯重美先生が、甲山高校の精神として浸透させたい思いを、育友会の厚意を得て、第3回卒業式の直前に碑を完成させたとのこと。

「基（もとい）」は甲高生の基本精神です。自己の可能性を信じ、忍耐強く歩みを固め、相互に助け合って、よりよい人生を送ってほしいとの願いが込められています。学校への愛情、生徒への期待が感じられます。「不易」と「流行」を十分に見極めつつ、これをしつかりと位置づけた教育活動が必要なのでしょう。



校是「基（もとい）」の碑

時間/曜日	月	火	水	木	金	土
8:30	○	○	○	/	○	○
12:00	○	○	○	/	○	○
15:45	○	○	○	/	○	○
19:00	○	○	○	/	○	○

休診/木曜午後・土曜午後・日曜・祝祭日

(電話) 0798-72-4601(代)

http://www.sonodanaika.com

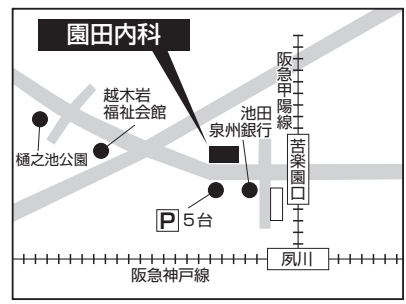
内科 胃腸科 循環器科

医療法人社団

園田内科

西宮市南越木岩町14-7

阪急苦楽園口駅 西側徒歩約3分





「緑に囲まれた苦楽園口」

太田 寿々々



「登下校に通る思い出の階段」

酒井 彩名



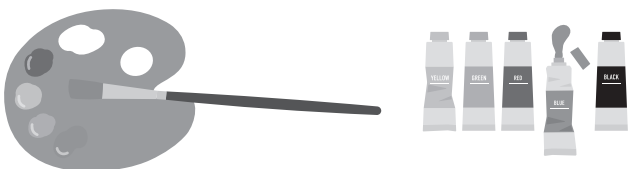
「里道」

岡本 望優



「夙川」

関本 日陽里



苦楽園百景
苦楽園中学校



スポーツ&カルチャークラブ21 苦楽園
令和7年度会員募集!!

・問い合わせは sc21kurakuen@gmail.com
https://www.nishi.or.jp/bunka/sportkatsudo/sportsclub21/kurakuen.html

種目	活動日	場所	参加資格	種目	活動日	場所	参加資格
ミニバスケット	毎土曜・ 第1・3・5日曜・ 水曜	苦楽園小 体育館	小学生	テニス	毎火曜	苦楽園中 テニスコート	大人
サッカー	毎土曜・日曜	苦楽園小 OR 北夙川小 校庭	年中～ 小学生	女子ソフトボール	第1・2・4・5 土曜	苦楽園小 校庭	大人女子
スナッグゴルフ	第1日曜・ 第3土曜	苦楽園小 校庭	制限なし	野球	毎土曜・日曜	苦楽園小 OR 神原小 校庭	小学生
クォーターテニス	第1～4日曜	苦楽園小 体育館	大人	習字とおもしろ工作	第2土曜	苦楽園小 クラブハウス	制限なし
バドミントン	第2・4日曜	苦楽園小 体育館	大人	絵画	第4日曜	苦楽園小 クラブハウス	小中学生

◇設立から21年目を迎える地域自主運営のクラブで、子どもからお年寄りまで、地域の誰もが参加できるスポーツと文化のクラブです。

主に苦楽園小学校の校庭、体育館などの体育施設とクラブハウスを使って活動します。地域との関わりを通して、健康増進、技術向上、友達づくりなどができる楽しい場を提供しています。